

訓練目的

『物資支援システム』における、①自治体職員のシステム操作習熟 ②高負荷下でのシステム動作確認

訓練内容

日時：令和3年3月18日13:30～16:30

参加：国（内閣府及び物資関係省庁）・29都府県（全参加）・683市区町村（不参加24自治体）

内容：物資支援業務に係る一連のシステム処理（施設開設・要請・調達・輸送・到着確認）を実施

+追加参加8自治体

(当初より不参加予定:9 当日操作形跡がなかった:15)

急遽不参加となった理由は「緊急案件の発生(管内での火災など)」が多数。

⇒管轄の都府県確認の上で、すべてフォローアップ実施済

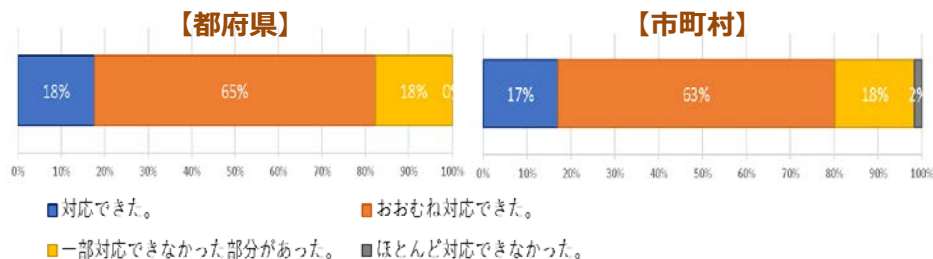


訓練の様子（愛知県）

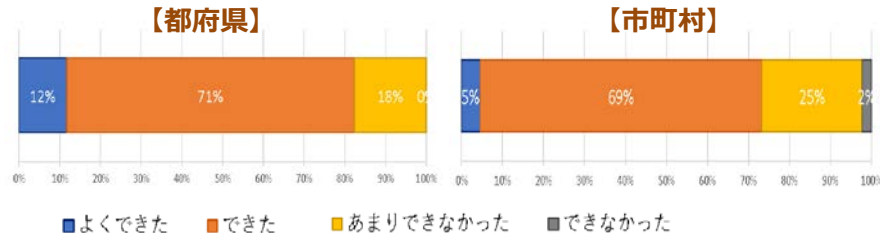
結果概要（都府県・市町村）

- 訓練内容の達成率について、都府県・市町村ともに約80%程度が対応できた、または概ね対応できたと回答。
また、都府県で約82%、市町村で約73%が、訓練を通じて操作習熟ができたと回答。
- 南海トラフ地震被害想定自治体が一斉に訓練を開始することで、システムに対し高負荷状態を再現したが、特段の支障なく運用できることを確認できた。

訓練内容の達成状況について



訓練を通じての操作習熟状況について



主な課題

✓ **操作マニュアル等はあるが約20%は訓練に十分対応できなかった**

・『マニュアルを見たが操作があまり理解できず、言われるままの操作となった。』
・『細かい操作が多く、直感的ではない。』 ・『自分の操作が今どこの部分なのか、分からないまま終わってしまった。』

✓ **実災害時にシステムを利用して要請等の処理ができるか不安との意見が多くあった**

・『定期的な訓練実施や説明会の存在が重要と感じた。』 ・『とにかく操作習熟ができていない。』